

取扱説明書

保証書別添

日立LED照明器具

型式

LEC-AH802FM
LEC-AH602FM



このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→ (P.3)をお読みいただき、正しくお使いください。

工事店様へ

この説明書は、工事終了後、お客様にお渡しください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

便利な機能	2
安全上のご注意	3
各部のなまえ・付属品	4
使用上のご注意	6

使いかた

取り付ける前に	7
開梱後の器具の取り外しかた	7
器具の取り付けかた	8
リモコンの準備	11
・乾電池の入れかた	11
・チャンネルの設定	11
点灯・消灯のしかた	13
・リモコンで操作する	13
・壁スイッチで操作する	13
まなびのあかり	14
調色・調光	15
・連続調色	15
・連続調光	15
おこのみ	16
おやすみ30分	16
器具の取り外しかた	17

お手入れ

お手入れ	18
------	----

お困りのときは

お困りのときは	18
仕様	19
保証とアフターサービス	20

便利な機能

[まなびのあかり] 文字が見やすく色鮮やかに見えるあかりで、学びの環境を整える

まなび のあかり

[まなび] ボタンを押すと、青緑色と赤色の光をプラスするとともに全灯の 1.2 倍の明るさで点灯します。
文字がはっきり見やすく、色も鮮やかに見えます。

操作のしかたは → (P.14)

[おこのみ]

おこのみ

[おこのみ] ボタンを押すと、設定したお好みの明るさと光色で点灯します。

操作のしかたは → (P.16)

調色・調光

操作のしかたは → (P.15)

連続調色

光の色をきめ細かく調整できます。

連続調光

明るさを100%～約5%まで、きめ細かく調整できます。

おやすみ30分

操作のしかたは → (P.16)

ボタンひとつで30分後に自動消灯します。
おやすみになるときなどに便利です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。

警告



このような場所には取り付けない

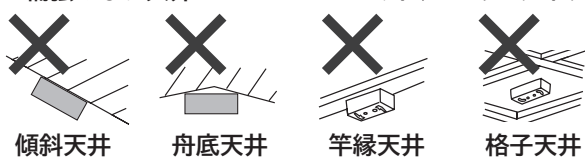
※器具の落下によるけがの原因となります。

禁止



押すと簡単にたわむ
補強のない天井

ケースウェイ取り付け形
ローゼット、シーリングボディ



傾斜天井

舟底天井

竿縁天井

格子天井

※竿縁天井は、別売りのアダプタを併用することで
取り付け可能となる場合があります。(P.10)



禁止

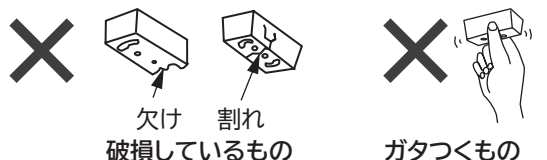
- 器具の分解や改造、構成部品の交換はしない
※火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまやコネクタに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない
※感電・故障の原因となります。



このような配線器具には取り付けない

※火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。

禁止



欠け 割れ
破損しているもの

ガタつくもの

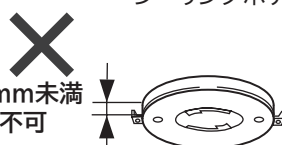


19mm未満
使用不可

角形・丸形引掛
シーリングボディ



電源が露出して
いるもの



10mm未満
使用不可

丸形埋込引掛シーリングローゼット

このような場合は、
電気工事店に依頼して
配線器具を交換してく
ださい。

注意

●定格電圧 交流100V以外で使用しない

※過熱し、火災の原因となります。

●浴室などの湿気の多い場所や、常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない

※絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。

●調光器では使用しない(100%点灯でも使用不可)

※過熱し、火災の原因となります。

●取り付け、取り外し、お手入れの際は電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※電源を切らないと感電の原因となります。

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

●器具の真下にストーブなどを置かない

※過熱し、火災の原因となります。

●屋外で使用しない(この器具は屋内専用です)

※火災・感電の原因となります。

●点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので触らない

※やけどの原因となります。

●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない

※器具の落下によるけがの原因になります。

●カバーを外して、点灯しているLED光源を直視しない

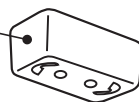
※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

各部のなまえ・付属品

●P4、P5の図を参照して、各部品をお確かめください。

※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。

角形引掛シーリングボディなどの
配線器具は付属しておりません。



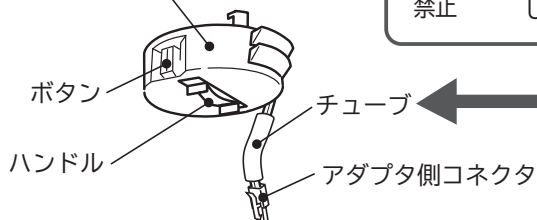
アダプタ(補修部品番号：FU-403)



●チューブをはずさない

※万一、コネクタ部から発火
した際の延焼防止です。

禁止



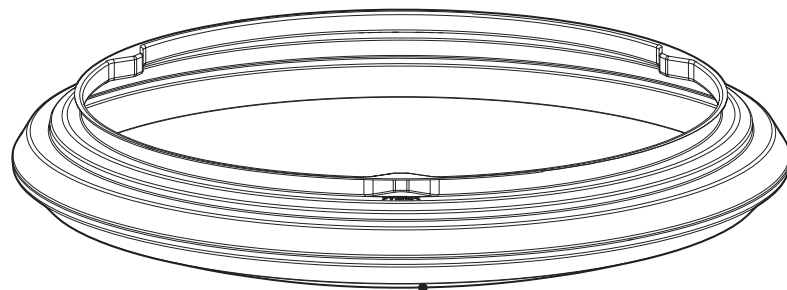
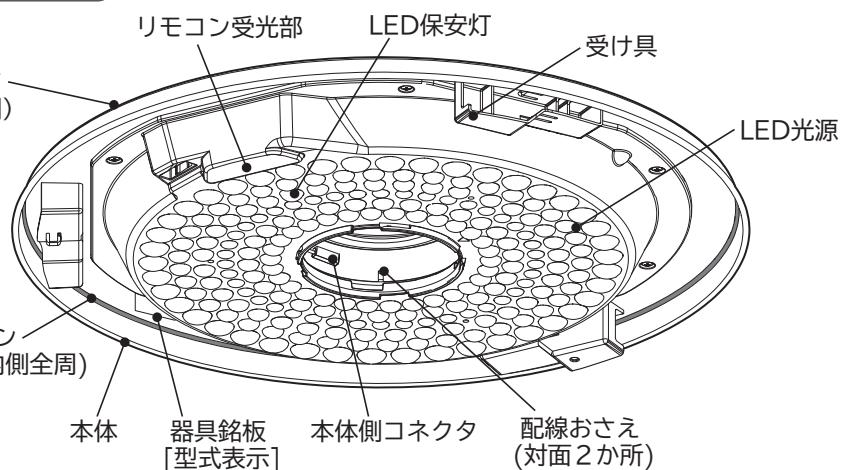
●本体裏側のスポンジや
パッキンをはずさない

禁止

※器具のガタつきや回転防止、
防虫のためです。

スポンジ
(本体裏側)

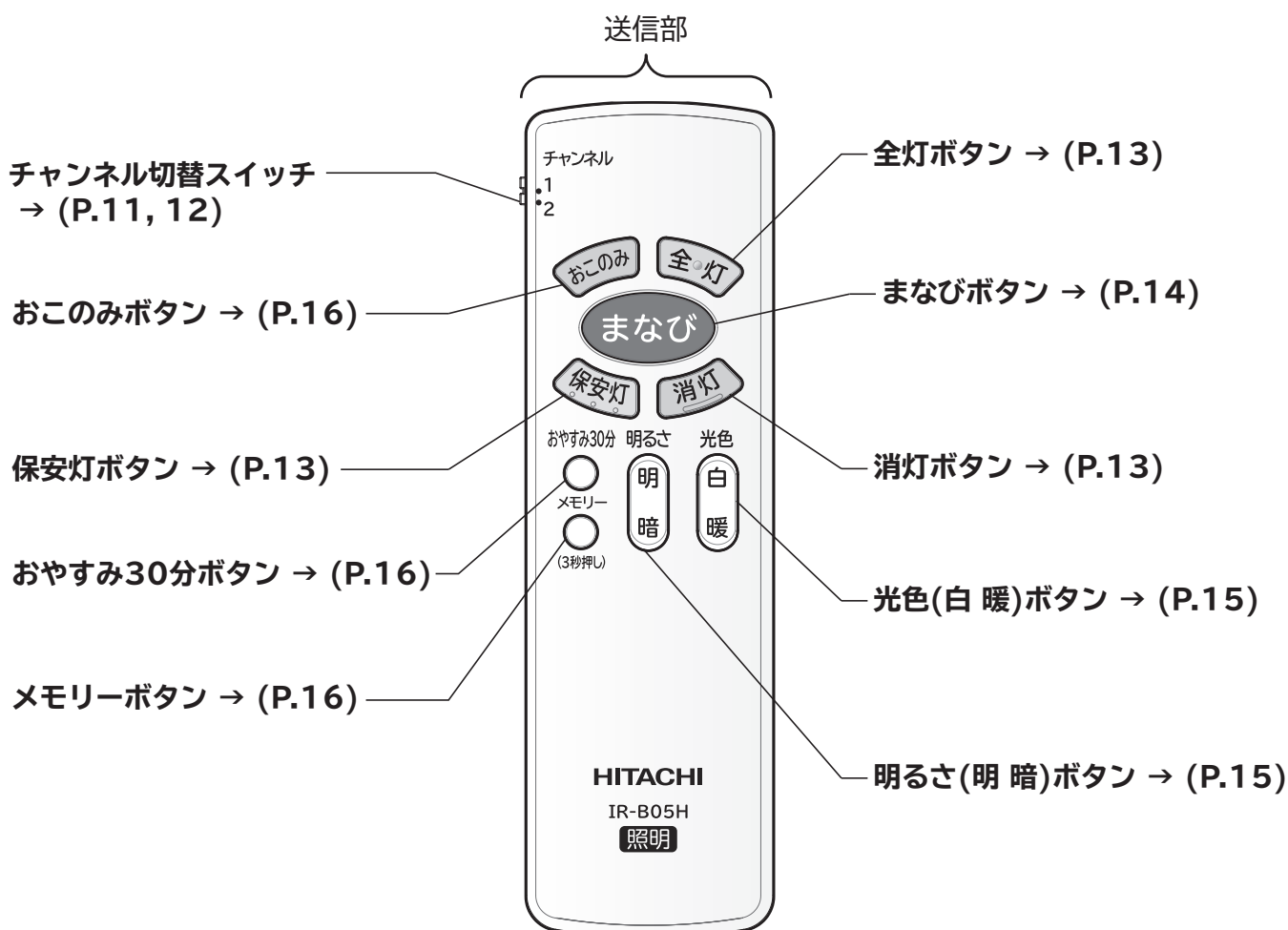
パッキン
(本体内側全周)



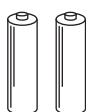
カバー
(補修部品番号：FU-474)

リモコン (型式：IR-B05H/補修用部品番号：FU-472)

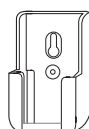
操作ボタンを押すとリモコン送信部からの信号が本体に入り、器具から電子音が「ピッ」と鳴り受信をお知らせします。操作ボタンを押しても点灯状態が変わらないときは、電子音が「ピピッ」と鳴ります。



付属品



単3形乾電池
1.5V×2本



壁掛け用ホルダー
(補修用部品番号：FU-416)



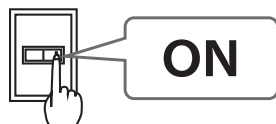
木ねじ
(2本)

使用上のご注意

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが作動しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 短い停電(0.2秒~2秒以内)や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長時間、器具を使用しない場合は電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切ることをおすすめします。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。
- LED光源のみの交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあります。そのため、同一型式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、器具取り付け天井面が変色する場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- 器具部品の伸縮により、点灯中や消灯直後にきしみ音が発生する場合があります。
- カメラまたはビデオカメラで器具を撮影すると、モニターや撮影画像に線や模様が入ることがあります。

リモコン使用上のご注意

- 壁スイッチはONにしてご使用ください。



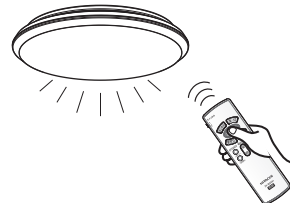
壁スイッチはONにする

- リモコンは壁掛け用ホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。



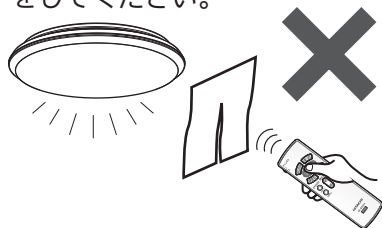
器具に向けて操作する

- 周囲の環境条件、天井・壁・床の色や材質などにより、リモコンが操作しにくい場合があります。その場合は、器具に近づけてリモコン操作をしてください。



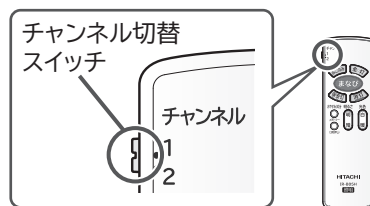
器具に近づけて操作する

- リモコンと器具の間にしゃへい物があると器具が作動しない場合があります。その場合は、しゃへい物を避けてリモコン操作をしてください。



しゃへい物を避ける

- 器具とリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。「チャンネルの設定」→ (P.11) をご参照ください。



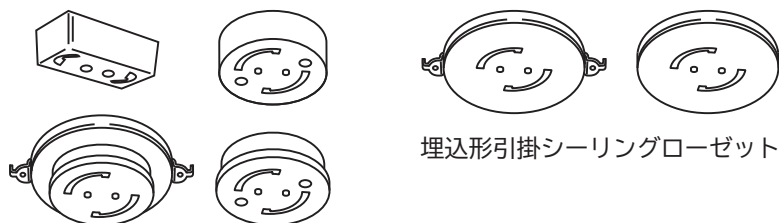
チャンネルを合わせる

- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落としたり衝撃を与えたりしないでください。変形や故障の原因となります。

取り付ける前に

- 天井にこのような配線器具がついている場合は、電気工事なしで器具が取り付けられます。ただし、このような配線器具でも取り付けてはいけないものがあります。

→ (P.3)「△警告 このような配線器具には取り付けない」



角形・丸形引掛シーリングボディ



必ず守る

- 天井に配線器具が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する
※工事には資格が必要です。

開梱後の器具の取り外しかた

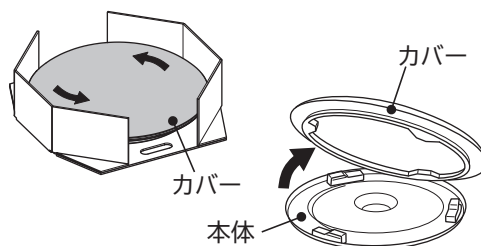
※器具は包装用部品に固定されていますので、下記に従い取り外してください。
無理に外すと器具部品の破損などの原因となります。

1

カバーを本体から外す

カバーは本体に固定されていますので、左に30度程度回してから、ゆっくりとカバーを持ち上げてください。

※無理に外すとカバー破損の恐れがあります。



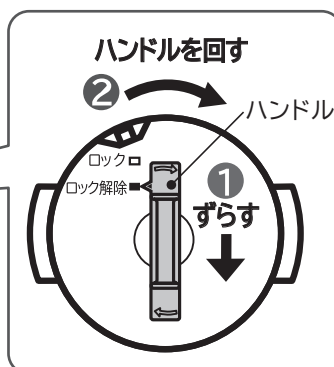
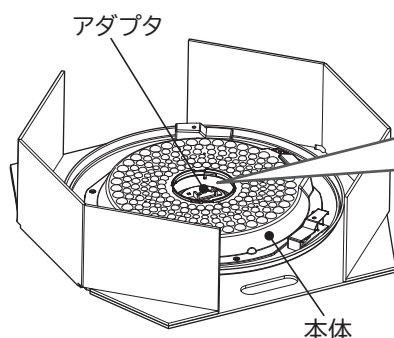
2

本体を外す

① アダプタのハンドルをずらして、ロック解除の位置に合わせてください。

② アダプタをつかみ、ハンドルを右に回してアダプタと本体を取り外してください。

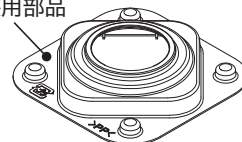
※アダプタが本体の奥に入って取り出しにくいときは、本体を取り外したあと、包装用部品の裏側などからアダプタを取り外してください。



ご注意

この部品は、包装用部品です。
器具の取り付けには使用しません。

包装用部品



器具の取り付けかた

1

電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



必ず守る

●器具の取り付けの際は、電源を切る

※電源を切らないと、感電の原因となります。
また、コネクタ差し込み時にLEDが点灯して目を傷めるおそれがあります。

2

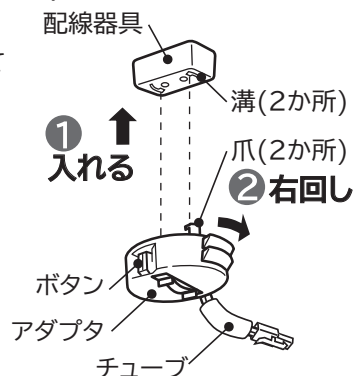
配線器具にアダプタを取り付ける

① 配線器具(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタの爪を入れる

●必ず同梱しているアダプタを使用してください。

② 右方向にいっぱいまで回す

●ロックが掛かり固定されます。



必ず守る

●取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、外れないことを確認する

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

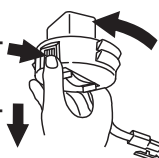
アダプタの取り外しかた

●ボタンを押しながら、左方向へ回してください。

1 押す

2 左回し

3 外す

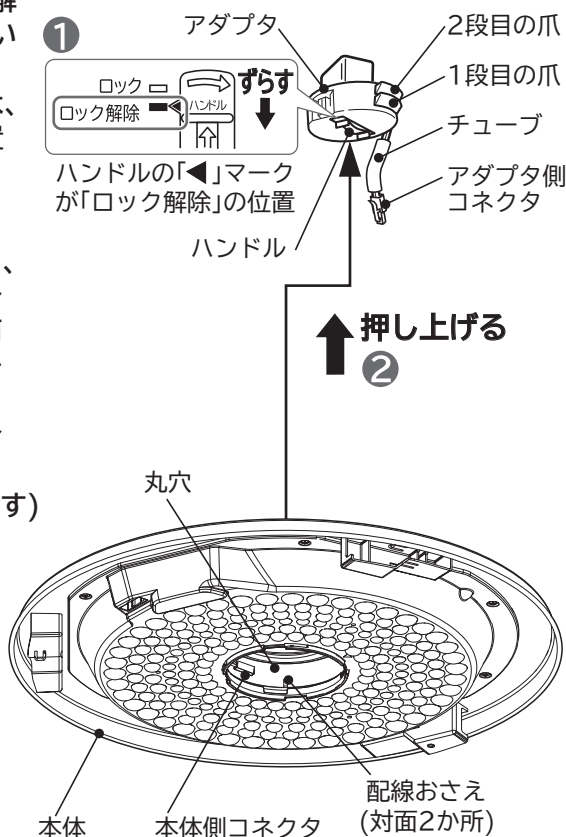


3

アダプタに本体を取り付ける

① ハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認する
なっていない場合は、「ロック解除」の位置にずらす

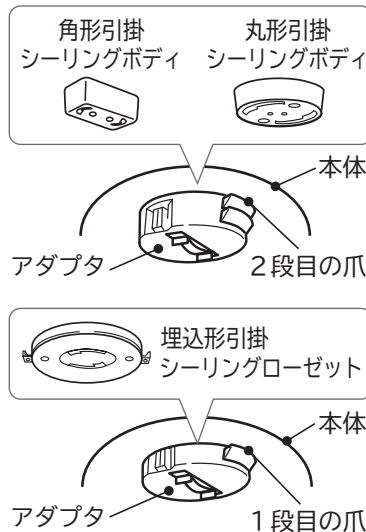
② アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて、アダプタ両側の爪に掛かるまで押し上げる
本体がガタつく場合はさらに押し上げる
(爪は上下2段あります)



必ず守る

●天井に付いている配線器具により、本体に掛かる爪の位置が変わるので、下の図を参照し、適切な爪(両側2か所)が本体に掛かっていることを確認する

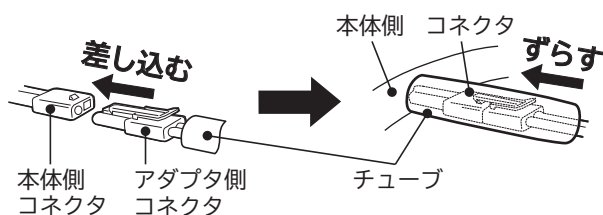
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



4 ハンドルを「ロック」の位置にずらす



5 アダプタ側コネクタと本体側コネクタとを確実に差し込む



禁止

●コネクタや電線を無理に引っばらない

※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

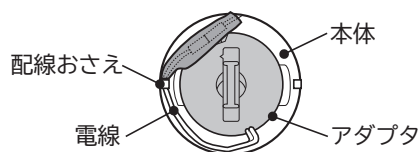


注意

●アダプタのチューブをずらしてコネクタを確実におおう

※万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止です。

6 アダプタ側の電線を、配線おさえに引っ掛ける

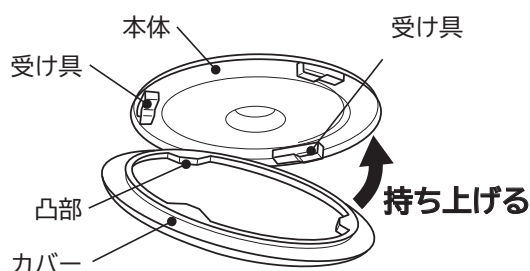


必ず守る

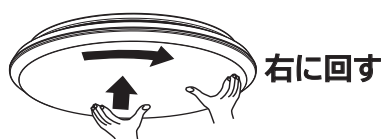
●電線を引っ掛ける際には、配線おさえに触れない

※手をけがする原因となります。

7 本体の受け具横にカバーの凸部を合わせ、本体側にカバーをあてて、カバーを持ち上げて本体にかぶせる



8 カバーを押し上げながら、「カチン」と音がして止まるまで右に回す



必ず守る

●取り付け後、カバーを軽く下に引っばり、外れないことを確認する

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



禁止

●カバーを正しく取り付け後は、カバーを無理に回さない

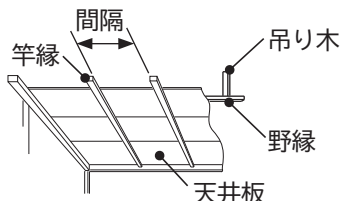
※器具の破損、落下によるけがの原因になります。

器具の取り付けかた(つづき)

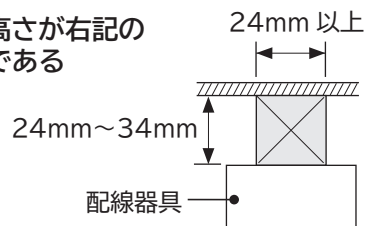
※竿縁天井は別売りの竿縁天井用シーリングアダプタ RCA01 を併用することで取り付け可能となる場合があります。

竿縁天井に取り付けられる条件

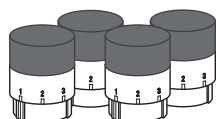
- 竿縁の間隔が 250mm 以上である
- 竿縁が天井裏で補強されている



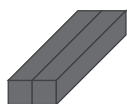
- 竿縁の高さが右記の範囲内である



【アダプタ RCA01 (別売) 取り付けかた】



アダプタ (4個)



棒パッキン (2個)

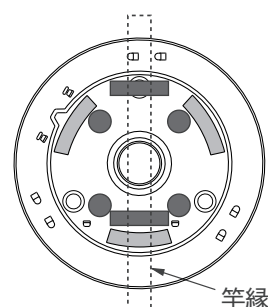
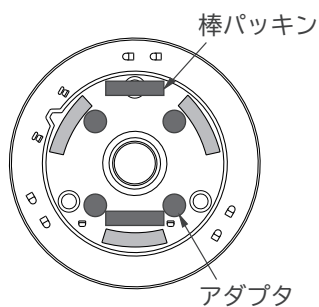
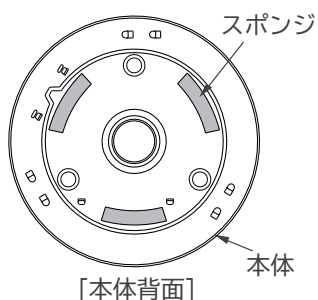
ご注意

高さ調節などの詳しい取り扱いについては、アダプタ RCA01 に同梱されている取扱説明書をお読みください。

- ① 床やテーブルに傷が付かぬよう布などを敷き、その上に本体を裏返しにしてください。

- ② 下図の位置にアダプタ (4か所) と棒パッキン (2か所) を貼り付けてください。

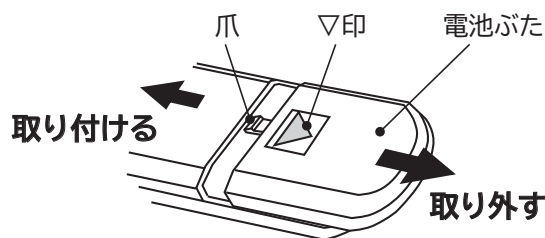
- ③ 竿縁を下図の位置に合わせ、8 ページ「器具の取り付けかた」の手順に従い取り付けてください。



リモコンの準備

乾電池の入れかた

- 1 リモコン裏面の電池ぶたの▽印を押しながら、電池ぶたをずらして取り外す
- 2 付属の単3形乾電池を ⊕ ⊖ の表示に合わせて入れる
- 3 リモコンに電池ぶたをかぶせ、▽印を押しながら、リモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付ける



乾電池について

- 乾電池を誤って使うと液もれや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、注意してご使用ください。
 - ・電池の液が目に入った場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けること。
 - ・発熱、液もれ、破裂、機器破損のおそれがあるので、⊕ ⊖ 逆接続、ショート、分解、新旧電池や銘柄の違う電池・異種電池の混用、充電、加熱、火に入れるなどしないこと。
 - ・電池の液が、皮ふや衣類に付着した場合には水で洗い流すこと。
- 液もれによる故障の原因となるので、長時間使用しない場合は乾電池を取り外しておいてください。
- リモコンの乾電池は、約半年を目安に交換してください。
- 付属の乾電池は、リモコン操作確認用として同梱していますので、使える期間が短い場合があります。

チャンネルの設定

※器具は出荷時の状態で、ご使用いただけます。
お部屋でご使用になる照明器具の台数に応じ、チャンネルを設定してください。
※リモコンは、器具に向けて操作してください。

1台のリモコンで1台の器具を操作する場合

リモコンをチャンネル1に合わせて操作します。

チャンネル切替スイッチ位置が「1」

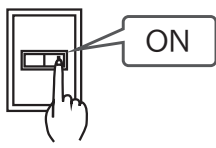
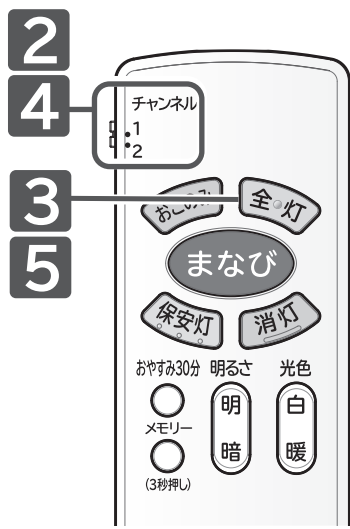
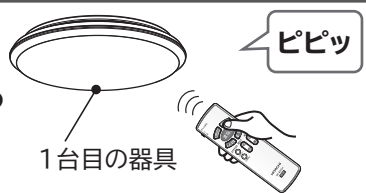


※出荷時は、チャンネル「1」に設定しています。リモコンのチャンネル切替スイッチ位置が「1」になっていることを確認のうえ、器具にリモコンを向けて操作してください。

リモコンの準備(つづき)

1台のリモコンで2台の器具を別々に操作する場合

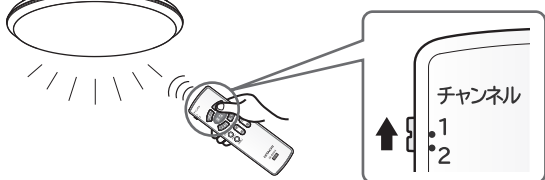
器具のチャンネル設定をします。

1	壁スイッチはONにする ※器具は出荷時、チャンネル1に設定しています。 1台のリモコンで操作したい1台目の器具がチャンネル1の場合、手順2, 3は省略し、手順4から設定してください。		
2	リモコンのチャンネル切替スイッチを「1」の位置にする ※出荷時は、チャンネル「1」に設定しています。		
3	1台目の器具にリモコンを向け、 全灯 ボタンを約3秒間、長押しする ●器具から電子音が「ピピッ」と鳴り、設定の完了をお知らせします。		
4	リモコンのチャンネル切替スイッチを「2」の位置にする		
5	2台目の器具にリモコンを向け、 全灯 ボタンを約3秒間、長押しする ●器具から電子音が「ピピッ」と鳴り、設定の完了をお知らせします。		

●チャンネル設定が完了したら、リモコンを各々の器具に向けて操作してください。

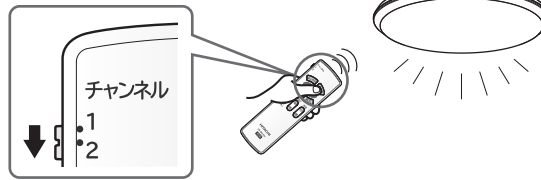
1台目の器具

リモコンのチャンネル切替スイッチを「1」の位置にして操作します。



リモコンのチャンネル切替スイッチを「2」の位置にして操作します。

2台目の器具



●チャンネル設定を変えたい器具以外も反応して、同時に設定されてしまう場合は、電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切り、対象器具以外のコネクタを外してからチャンネル設定をしてください。

※コネクタの外しかたは→ (P.17)をご参照ください。

ご注意

●リモコンは、他の日立リモコン照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定のしかたは、その商品の取扱説明書をご参照ください。
また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

点灯・消灯のしかた

リモコンで操作する

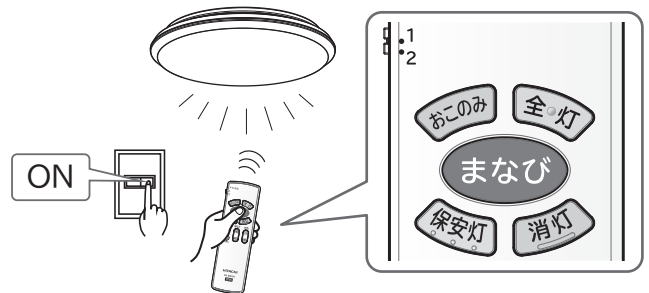
壁スイッチをONにして、リモコンを器具に向けて操作します。
※器具を取り付ける際にブレーカを切った場合にはブレーカを入れてください。

点灯するとき

全灯 ボタン、**おこのみ** ボタン、**まなび** ボタン、**保安灯** ボタンのいずれかを押します。

消灯するとき

消灯 ボタンを押します。



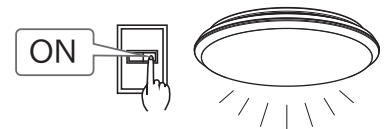
器具の電子音を消すとき(解除も同一操作)

点灯状態の場合は、リモコンで消灯してから次の操作をしてください。
●壁スイッチがONの状態で **暗** ボタンを約10秒間長押ししてください。

壁スイッチで操作する

点灯するとき

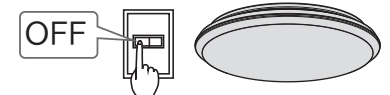
壁スイッチをONにします。



消灯するとき

壁スイッチをOFFにします。

●壁スイッチをOFFにしてから2秒以上経過した後に、壁スイッチをONにすると、壁スイッチをOFFにする前またはリモコンで消灯する前の点灯状態になります。



点灯状態を切り替えるとき

壁スイッチがONの状態で、約1秒を目安に「OFF→ON」することで器具の点灯状態を切り替えることができます。

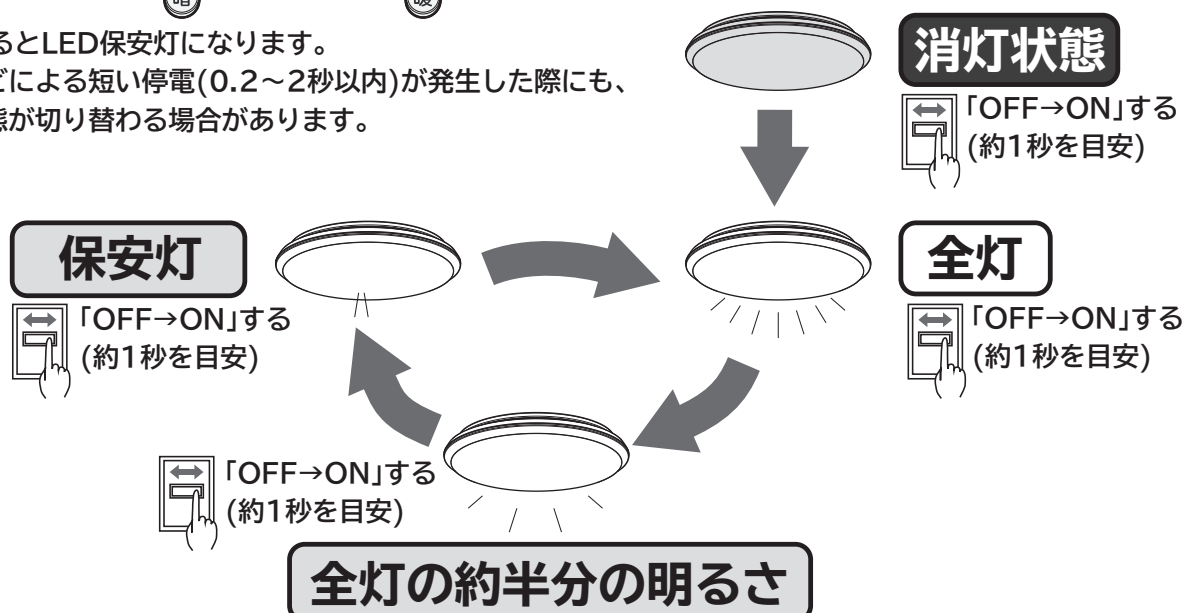
●1個の壁スイッチで2台以上の器具を使用すると、点灯状態が同時に切り替わらない場合があります。

●0.2秒以下や2秒を超えた場合は検知しないので、点灯状態の切り替えはできません。

●**おこのみ** ボタン、明るさ(**明**)ボタン、光色(**白**)ボタンで明かりを調整した点灯状態から、約1秒を目安に「OFF

→ON」するとLED保安灯になります。

※落雷などによる短い停電(0.2～2秒以内)が発生した際にも、点灯状態が切り替わる場合があります。



まなびのあかり

青緑色と赤色の光をプラスするとともに全灯の1.2倍の明るさで点灯します。

設定のしかた

まなび ボタンを押す

※2回目以降は電子音が「ピピッ」と鳴り、点灯状態は変化しません。

解除のしかた

- **全灯**、**消灯**、**保安灯**、**おこのみ** のいずれかのボタンを押すと、押したボタンの点灯状態になります。



調色・調光

※まなびのあかりでお使いのときは、調整できません。

連続調色

光の色をきめ細かく調整できます。

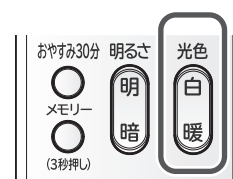
●昼光色に近い白い色から電球色に近い暖かみのある色まで光の色を調整できます。



調整のしかた

点灯している状態で  ボタンを押す

●操作ボタンを押しても点灯状態が変わらないときは、電子音が「ピピッ」と鳴ります。また、ボタンを1回ずつ押して一段階ずつ光色を変化させると、白と暖の中間の光色になったときに電子音が「ピピッ」と鳴ります。
(押し続けて連続的に変化させた場合は鳴りません)



連続調光

LED光源・LED保安灯の明るさを100%(明)～約5%(暗)の範囲できめ細かく調整できます。



調整のしかた

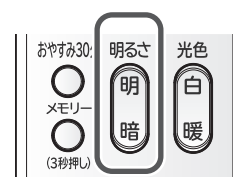
点灯している状態で  ボタンを押す

●操作ボタンを押しても点灯状態が変わらないときは、電子音が「ピピッ」と鳴ります。

また、全灯でボタンを1回ずつ押して一段階ずつ明るさを変化させると、全灯の約半分の明るさになったときに電子音が「ピピッ」と鳴ります。

(押し続けて連続的に変化させた場合は鳴りません)

※明・暗の調整範囲は、光色ボタンで調整した光色での上限、下限の明るさになります。



おこのみ

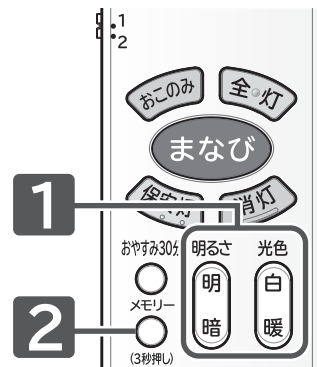
設定したお好みの明るさと光色で点灯します。

※初めてご使用になるときは、工場出荷時の設定(暖色のあかり)で点灯します。

設定のしかた

1 明るさ()ボタン、光色()ボタンで
お好みの点灯状態にする

2 メモリー
 ボタンを約3秒間長押しし、点灯状態を記憶する
●器具から「ピッ」と電子音が鳴れば設定完了です。



 ボタンを押す

※記憶した点灯状態を元に戻したいときは  ボタンを約3秒間長押しすると、器具から「ピピッ」と電子音が鳴り、工場出荷時の設定に戻ります。

やすみ30分

やすみ30分ボタンを押すと、30分後に自動消灯します。

※保安灯以外でお使いのときは自動消灯の3分前に、暖色のあかりに切り替わります。

設定のしかた

やすみ30分
 ボタンを押す
●器具から「ピッ」と電子音が鳴れば設定完了です。

解除のしかた

- 設定後、再び  ボタンを押してください。
器具から「ピピッ」と電子音が鳴って解除されます。
-  または  ボタンでも解除されます。

※  ボタン、 ボタン、 ボタン、明るさ()ボタン、
光色()ボタンを押しても解除されません。



器具の取り外しかた

1

電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



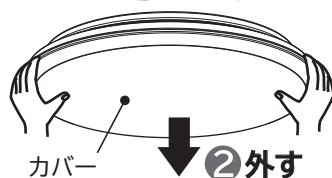
●器具の取り外しの際は、電源を切る

必ず守る ※電源を切らないと、感電の原因となります。

2

カバーを左に回して取り外す

① 左回し



カバー

② 外す



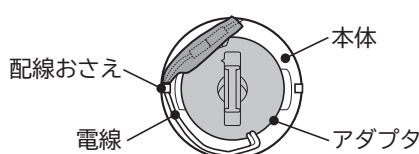
接触禁止

●消灯直後の器具は熱いので、時間をおいて本体が十分に冷えてから作業する

※やけどの原因となります。

3

アダプタ側の電線を、配線おさえから取り外す



配線おさえ

電線

本体

アダプタ



●電線を取り外す際には、配線おさえに触れない

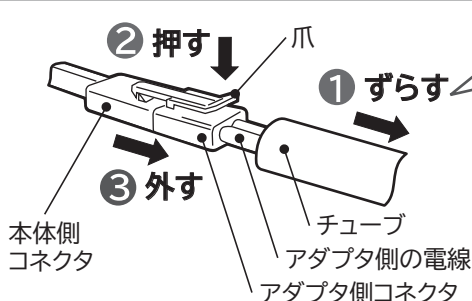
必ず守る

※手をけがする原因となります。

4

コネクタを外す

●チューブをアダプタ側の電線にずらし、アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。



② 押す

① ずらす

③ 外す

本体側コネクタ

チューブ

アダプタ側の電線

アダプタ側コネクタ



禁止

●コネクタを無理に引き抜いたり、電線を引っぱったりしない

※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

5

ハンドルの「◀」を「ロック解除」の位置にずらす

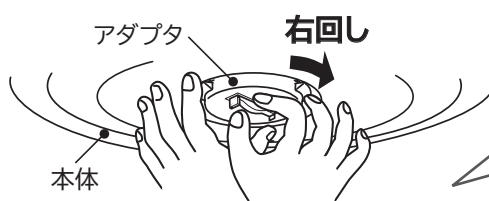


ずらす

ハンドル

6

本体中央部をしっかりと支えながら、アダプタのハンドルを右に回し、本体を外す



アダプタ

右回し

本体



必ず守る

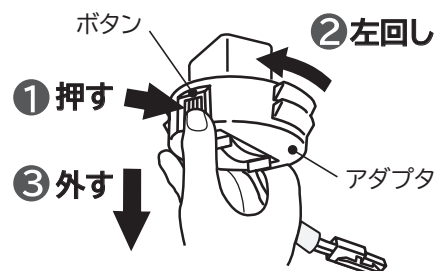
●本体が落下しないように、確実に本体を支えながら作業する

※手を離すと本体落下によるけがの原因となります。

7

アダプタを外す

●ボタンを押しながら左方向に回してください。



① 押す

② 左回し

③ 外す

アダプタ



禁止

●アダプタを無理に回さない

※引掛シーリングボディなどの破損の原因となります。

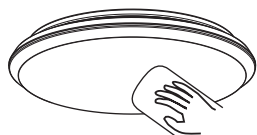
※器具の取り付けかたは → (P.8~10)をご参照ください。

お手入れ

●明るく安全にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

器具のお手入れ

- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。
- 汚れが落ちない場合は、柔らかい布を石けん水に浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
石けんとは天然油脂を原料としたものです。
(商品表示が「石けん」であることを確認してください。)



- お手入れの際は、電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

必ず守る ※電源を切らないと、感電の原因となります。



- みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけたりしない

※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



みがき粉



ベンジン



合成洗剤



化学ぞうきん



殺虫剤

器具取り扱い上のご注意



接触禁止

- 点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているの
で、触らない

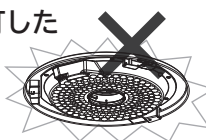
※やけどの原因となります。



禁止

- カバーを外した状態で点灯した
LED光源を直視しない

※目を傷めたり、目に悪影響を
及ぼすおそれがあります。



お困りのときは

- もしこんな現象が起きたときは・・・
故障と思われる前に下の表にしたがってお調べください。

このようなときは	ここを確認してください	直しかた	ページ
消灯した 点灯状態が暖色 に切り替わった 後、消灯した	●おやすみ30分が設定されている。	●再度点灯してください。	16
明るさが 変わった	●短い停電があった。	●短い停電で、壁スイッチの操作のように 「点灯状態を切り替える」機能が働く場合 があります。再度点灯してください。	13
リモコンを 操作しても 点灯しない	●壁スイッチが OFF になっている。	●壁スイッチをONにしてください。	6
	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	9
	●リモコンの乾電池が間違っ て入っている。	●乾電池を正しく入れてください。	11
	●乾電池が寿命になっている。	●新しい乾電池と交換してください。	11
	●器具本体とリモコンのチャ ンネルが合っていない。	●チャンネルを正しく設定してください。	11,12
	●リモコンを壁掛け用ホルダ ーに入れたまま使用している。	●リモコンを壁掛け用ホルダーから取り出 して、器具に向けて操作してください。	6
リモコンを操作 しても器具から 音がしない	●点灯状態は切り替わるが器 具から音がしない。	●点灯状態の場合は、リモコンで消灯して から次の操作をしてください。 壁スイッチがONの状態 で、リモコンの「暗」 ボタンを約10秒間長押ししてください。	13

このようなときは	ここを確認してください	直しかた	ページ
壁スイッチを操作しても点灯しない	●ブレーカが切になっている。	●ブレーカを入れてください。	—
	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	9
点灯状態が次々と切り替わる	●店頭展示状態に入っている。	●リモコンで消灯ボタンを、電子音が鳴るまで約10秒間長押ししてください。 全灯ボタンで点灯し、点灯状態が次々と切り替わらずに解除されていることを確認してください。	—
自動でまなびのあかり点灯状態に切り替わる	●店頭展示状態に入っている。	●リモコンで消灯ボタンを、電子音が鳴るまで約10秒間長押ししてください。 その後、点灯状態が切り替わらずに解除されていることを確認してください。	—
リモコンで消灯していたが、勝手に点灯した	●2秒以上の停電があった。	●リモコンで消灯していても、2秒以上の停電後に電源が復旧した際は、リモコンで消灯する前の状態で点灯します。	13

上記の表にしたがって調べても直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

※万一、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。

すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の型式(本体の器具銘板に表示)と現象を連絡のうえご相談ください。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

型式	仕様	消費電力 (まなびのあかり使用時)	定格電圧	定格周波数	LED保安灯 点灯時消費電力	消灯時 待機電力
		定格消費電力 (全灯時)				
LEC-AH802FM(～8畳)		39.8W	交流 100V	50/60Hz 共用	0.6～1.1W (調光状態による)	約0.6W
		30.6W				
LEC-AH602FM(～6畳)		35.7W				
		26.7W				

- この器具はリモコン機能付き器具のため、リモコンで消灯した状態では上記の待機電力を消費しています。
長時間ご使用にならないときは電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切り、節電を心がけてください。
ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用または車両、船舶へのとう載》に使用された場合の故障または損傷。

保証期間	お買い上げ日から、LED光源基板・電源基板：5年、本体：1年です。(詳しくは保証書をご覧ください。)
------	--

- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。
--------	---

保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
---------------	-------------------------------------

使用中に異常が生じたときは

「お困りのときは」→ (P.18,19)をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。

- 修理を依頼されるため、製品を販売店にお持ちの際は、アダプタ、リモコンも一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容

- 1.型式：LEC-AH802FM または LEC-AH602FM
- 2.症状：できるだけ詳しく

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後6年**です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金を頂く場合があります。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈答品で販売店が不明な場合は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。

http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html

修理に関するご相談は
エコセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00(月~土)、9:00~17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

電話 (03) 3502-2111